

2. 人びとのくらしと田や畑の仕事

(1) 熱塩加納村の農業のようす

熱塩加納村は、土地のほとんどが山林で田畑は全体の20分の1ほどです。そして、村の人口の3分の1の人が農業にたずさわっています。

おもな田畑は、押切川・濁川にそった喜多方市に接するたいらな地域です。また、野辺沢川や赤沢川の川ぞいや、大平、板ノ沢、山岩尾、三ノ倉など山あいの集落の近くにもみられます。

村では昭和55年ころから、からだに好ましくない農薬や化学ひりょうを使わない、米ややさいづくりにとりくんでいます。(有機無農薬・有機低農薬栽培)。わたしたちの学校田の米や、給食で食べている米もそうしてつくられたものです。



加納地区の水田のようす

- ・有機無農薬栽培
自然からつくられたひりょうを使い、化学的につくられたひりょうや農薬を使わない米ややさいづくり。
- ・有機低農薬栽培
草をとりのぞく農薬を1回だけ使う米ややさいづくり。